

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
PC/P-8.4	必要ならば代替注水系を用いる。 (補3) ・MUW系 (復水) (補4) ・SLC系 (水源:配管水張りライン, テストタンク, SLCタンク) ・消火系 (補5) ・RHR海水系 (補6)	(補3)代替注入系の運転可能な原子炉圧力は以下の通り。 ・MUW系 (復水) 0~0.98MPa ・SLC系 - MPa ・消火系 0~0.98MPa ・RHR海水系 0~2.84MPa	
	代替注水系の起動手順	(補4)MUW系 (復水) は, RHR, CS の洗淨水ラインを用いる。	
	1. MUW系 (復水) (1) 復水移送ポンプ起動する。 (2) 現場の各洗淨水弁「開」を確認し, 各注入弁のCSを「開」とする。 a. LPCI-A系注入弁 [MO-10-25A] b. LPCI-B系注入弁 [MO-10-25B] c. CS-A系注入弁 [MO-14-12A] (補7) d. CS-B系注入弁 [MO-14-12B] (3) RPV/PCV注入ライン流量調整弁 [MO-10-111]を「開」する。 2. MUW系 (復水) 使用できない場合, 消火系 (FP) より注入する。 (1) FP-MUW連絡第一弁 [MO-79-1250]を「開」する。 (2) FP-MUW連絡第二弁 [MP-79-1251]を「開」する。 (3) M/D消火ポンプあるいはD/D消火ポンプを起動する。 (4) RPV/PCV注入ライン流量調整弁 [MO-10-111]を「開」する。 (5) (4)までで注水できない場合, 下記のECCS系の注入ラインのうち注入可能なラインの洗淨水弁を「開」する。 a. RHR-A系 LPCI注入ライン洗淨弁 [V-10-254, 255A] b. RHR-B系 LPCI注入ライン洗淨弁 [V-10-254, 255B] c. CS系充水加圧PCVバイパス弁 [V-14-751]	(補4)MUW系 (復水) は, RHR, CS の洗淨水ラインを用いる。 (補5)消火系は給水ラインとの連絡管を用いる。 (補6)RHR海水系による海水注水は, 緊急時対策本部 (TSC) 相談の上実施する。 (序-2-1参照) (補7)CS系開不能の場合, 第2注入弁 [MO-14-11A, B]の開確認後下記ジャンパーをし第1注入弁 [MO-14-12A, B]を開する。 (12A)PNL9-3 RE57Y02 (25)ヶ~(16)ヶ (12B)PNL9-3 RE59Y02 (25)ヶ~(16)ヶ  (R/B 1FL パーソナルエアロック室上) (R/B 1FL パーソナルエアロック室上) (R/B 2FL 東側)	参考資料 [参考5] 図2  参考資料 [参考5] 図3
	3. SLC系 (補8) (1) SLCタンク出口弁 [V-11-11]を「全開」にする。 (2) SLCポンプ吸込ライン純水入口弁 [V-11-24]を「全開」する。 (3) SLCポンプ起動キースイッチを「ポンプA」又は「ポンプB」位置としSLC系を起動する。	(補8)テストタンク使用の場合も, テストタンク出口弁開前に SLCタンク出口弁を閉にすること。	参考資料 [参考5] 図4

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	<p>a. 潤滑油ポンプの起動を確認する。 b. SLC ポンプの起動を確認する。 c. 「ほう酸水注入中」赤ランプ点灯及び、「ほう酸水注入弁起爆回路断線」警報発生を確認する。 (4) CUW 系隔離を確認する。 (5) SLC ポンプ吐出圧力及びタンクレベルを確認する。</p> <p>4. 消火系 (1) 消火系～給水ヘッダー連絡メガネフランジを「通水側」にする。 (2) 消火系～給水ヘッダー連絡弁を「開」する。 a. 消火系～給水ヘッダー連絡ラインドレン弁[V-32-123-1, 123-2]の「閉」を確認する。 b. 消火系～給水ヘッダー連絡弁[V-77-40, V-32-107-1, 107-2]を「開」する。</p> <p>5. RHR 海水系 (1) RHRS-RHR 連絡メガネフランジを通水側にする。 (2) RHRS ポンプB又はD起動 (補9) (3) RHRS-RHR 連絡弁を開する。 a. 格納容器海水浸水連絡ラインブロー弁[V-10-288, 390]の「閉」を確認する。(屋外主変圧器脇) b. 格納容器海水浸水連絡弁[V-10-285, 522]「開」する。(屋外主変圧器脇) (4) RHR 第一注入弁(LPCI) [MO-10-25A (B)]を全開する。</p>	<p>(T/B 1FL ヒータルーム山側) (T/B 1FL ヒータルーム山側)</p> <p>(補9) RHRS ポンプが起動できない場合でも原子炉圧力が低い場合は注水ラインを構成すればろ過水タンクの水頭圧差により雑用水系から原子炉へ注水することができる。</p>	<p>参考資料 〔参考 5〕 図 5</p> <p>〔参考 5〕 図 1</p>
PC/P-8.5	<p>1. S/P 圧力が [384kPa (PCV 圧力制限値)] 以下に維持されるならば、「水位確保」(RC/L)へ移行する。 2. 前記の操作にもかかわらず、S/P の圧力が [384kPa (PCV 設計圧力)] 以下に維持できない場合は、(PC/P-9.1)の「PCV ベント準備」操作を行う。</p>		<p>解説 A-30 解説 A-31</p>

4-1-7(PC/P)